

名 称	早川溪谷景観保存地区
場 所	南巨摩郡早川町湯島、新倉
所有区分	県有林、民有林
面 積	70.61ha
標 高	550～1,000m
指定年月	昭和 48 年 12 月 15 日

指定理由

早川は、南アルプスの山々を源とする富士川の支流で、県道 37 号(南アルプス公園線)の栃ノ木橋から蓬来橋までの区間は、早川溪谷でも溪谷美のすぐれた代表的な地域である。

時雨の滝付近は、玄武岩質ないし塩基性安山岩質の緑色凝灰岩が見事に露出し、また、貫入岩体として石英玢岩も見られる地域で、カエデ、ナラ、シデ、フサザクラ、クリなどの広葉樹の間にウラジロモミ、コメツガなどの針葉樹が点生している。

切り立った岩壁と早川の清流が一体となり、優れた自然景観を呈する地域である。



撮影日：平成 20 年 9 月 8 日